

社会福祉法人 よつば福祉

2018年度・事業報告（2018年4月1日～2019年3月31日）

2018年3月に、上野デイハウスの隣地（旧・ゆずの家/2016年2月購入）にケアプランとまとと本部が移転しました。4月に南側の庭を駐車場に整備しました。

マンパワーでは、4月1日現在、介護職は7人、調理2人、看護師5人、ケアマネ4人と相談員1名合計19名です。送迎他委託は3人に、またボランティアは2人の方に協力いただいています。また、上野デイハウスでは現行のスタッフ体制になってからはじめて介護4の車いすの方の受け入れができました。また、4月から処遇改善加算Ⅱ（今まではⅢ）を申請し、6月からは地域密着型通所介護にサービス変更をしました。

上野デイハウスの利用者は現在27人で、平均年齢は86歳（76歳から93歳）です。利用者数が低迷しています。営業活動は、月1回以上は必ず新規の居宅介護支援事業所を訪問し営業活動を続けていますが、体験利用はあっても新規利用にはつながりませんでした。反応が悪いのも実感しています。また、つきあいのある居宅介護支援事業所13ヶ所および周辺事業所へは実績回りの時にあわせて津田と西川が分担して営業をおこないました。新たな取組としては、旧よつばサロンへのお出かけカフェ（体操）とケアマネさん対象の試食会（1/23.1/24）をおこないました。新たに広報チラシを制作し、3月に稲原評議員の協力で、よつ葉の会員さん宅に配布しました。また、手配りで近隣に配布しました。

ケアプランとまとの3月末の利用者は140人おられます。支援の方が51人で、介護1～5の方が89人です。2017年11月より特定事業所加算を返上し、制度上の体制を整えるのに専念した1年でした。準備が整い、2019年度5月から特定事業所加算Ⅲを申請したところです。あわせて人材補充もおこなうところです。

常任理事である中川前理事長と大里理事（一村評議員）と部門管理者（田中・西川・吉岡・津田）による常任理事会は、月1回開催しました。また、9月から石原理事も常任理事会に入ってくださいしています。西川・吉岡・津田の三人会議は、10月から常任理事会前におこないました。

社会福祉法人としての活動として、瀧川評議員および一村評議員の協力をえて、認知症サポーター養成研修を川西産直センター（2018.6.6）と関西よつ葉連絡会（同6.16）でおこないました。

地域ケア会議には、吉岡と西川が参加しています。

地域ネットワーク会議（2019.2.12）には津田が参加しました。

7月24日には豊中市による社会福祉法人の指導監査を受け、本部運営について、理事会と評議員会の開催等についての指導を受けましたが、以降は改善しています。

★理事会・評議員会開催報告

1. 第1回理事会

- (1) 開催年月日：2018年6月22日
- (2) 出席理事：中川健二・衣川文明・大里哲久・津田順子
出席監事：鈴木明美・和田秀幸
オブザーバー：西川明美（しもつき副施設長）・吉岡由香子（とまと管理者）河上賢一（税理士）
欠席者：大川朗子 石原陽一
- (3) 議決事項：①2017年度事業報告および収支決算報告

2. 定時評議員会

- (1) 開催年月日：2018年6月22日
- (2) 出席評議員：稲原裕・一村洋子・川畑行弘・則包正人
出席監事：鈴木明美・和田秀幸
出席理事：津田順子
欠席者：瀧川薫・森下雅喜
オブザーバー：西川明美（しもつき副施設長）・吉岡由香子（とまと管理者）
- (3) 議決事項：①2017年度事業報告および決算案の件

3 第2回理事会

- (1) 開催年月日：2018年12月10日
- (2) 出席理事：中川健二・大川朗子・衣川文明・大里哲久
石原陽一・津田順子
出席監事：和田秀幸・鈴木明美
オブザーバー：西川明美（しもつき副施設長）・吉岡由香子（とまと管理者）
- (3) 報告及び議決事項：①事業経過報告及び半期試算表
②苦情解決にかかる第三者委員の追加承認

4 第3回理事会

- (1) 開催年月日：2019年3月11日
- (2) 出席者委員：中川健二・大里哲久・衣川文明・石原陽一・津田順子
出席監事：鈴木明美
欠席者：大川朗子・和田秀幸
オブザーバー：西川明美（しもつき副施設長）・吉岡由香子（とまと管理者）
- (3) 議決事項：①2019年度事業計画案及び収支予算案
②評議員会の開催日程及び議案

5 評議員会

- (1) 開催年月日：2019年3月21日
- (2) 出席評議員：稲原裕・一村洋子・川畑行弘・則包正人・森下雅喜
出席監事：鈴木明美・和田秀幸
出席理事：津田順子
欠席者：瀧川薫
オブザーバー：西川明美（しもつき副施設長）
- (3) 議決事項：①2019年度事業計画案及び収支予算案

上野デイハウスしもつき 事業報告

2018年4月1日から2019年3月31日

2018年4月より、津田管理者と西川副施設長による運営体制に変更しました。さらに、3月より休職していた常勤（介護福祉士・副施設長）1名が休職し、常勤2名（津田&西川）と、介護職（パート）8名、調理員（パート）2名、看護師（パート）4名という体制になりました。また別に、送迎委託2名とボランティア3名です。

6月より、地域密着型通所介護に制度上の変更申請をおこない、定員18名となりました。それに伴い、介護報酬単価は約1割アップしています。

去年は6月に地震では1日休業をし、また9月の台風では停電が続き2日休業しました。結果304日営業をおこない、のべ3441人（1日平均11.3人）の方々にご利用いただきました。

この年度の体験利用者はのべ18人（内とまとからは4人）で新規利用者は11人（内とまとからは3人）でした。結果、この半年ほど利用者は平均11名前後と低迷しており、3期連続の赤字となってしまいました。管理者の責任が重いことを痛感しています。

取り組んだこと

利用者は11名前後ですが、介護看護スタッフは1日あたり5人から7人を配置し、調理は1名～1.5名でおこなっています。

*年間プログラム

毎月のお誕生会/ 避難訓練 / お出かけカフェ/ 花見/ 紅葉狩 /毎月の壁絵づくり

*機能訓練

あそびりクラブ青木PTによる集団機能訓練のデモを昨年10月と11月におこないました。今できている生活動作が維持できることを基本におこなうように助言をいただきました。また、食前の口腔嚥下体操と食後の口腔ケアには時間をかけています。食後にはグループでのタオルやボール等を使って上下肢を使う体操にじっくり取り組んでいます。ゲームも楽しみながら手先を使ったり、反射神経を使うように工夫しています。看護師にもペダルこぎ運動や階段昇降、散歩などの個別運動への参加を依頼しています。

*見守り介護

チームワークを重視し、お互いの役割を補佐し、事故のないように努力しました。過剰な介護とならないように、また家族さんとのコミュニケーションを重視し、その方の意向を確認し、ご本人ができることは手を出さずに見守るようにしています。立位のとれない車いすの利用者についても、入浴時は声かけをしながらできることはやっただけしました。

入浴後や体調不良時にベッドで休まれる方のために、念のためのセンサーマットを購入しました。

*ボランティアによる音楽レク

オカリナ、ハーモニカ、フルート、歌唱 と4人の音楽ボランティアが毎月、来てくださっています。

営業

豊中市北部 70 ケ所のケアプランセンターについては、半分については、昨年度に 2 回から 3 回営業訪問しました。しかしながら、新しい事業所からの体験利用はあったものの、新規利用とはなりませんでした。

広報チラシは、2019 年 3 月に産直センターのライフに入れていただきました。また、近所はポストインしています。木村事務所のニュースには、今年の 6 月に同封協力いただける予定です。上野デイハウスしもつきのことを知ってもらおうことを今後も続けていきます。

* 3 月末現在の利用者	介護 24 人	予防 3 人	(内訳：女 24 人・男 3 人)
あたらすファミリー	(1 人)	/	ニチイケアセンター柴原 (1 人)
ほほえみケアプランセンター	(1 人)	/	ケア&コミュニケーション (1 人)
おれんじプラン	(5 人)	/	ケアプランとまと (8 人)
ケアプランかりん	(1 人)	/	豊寿荘東町ケアプラン (1 人)
さつきケアプランセンター	(2 人)	/	エルケア少路ケアプラン (1 人)
かがやきケアプランセンター	(2 人)	/	少路包括支援センター (予防 3 人)

地域活動

地域ケア個別会議には、西川が出席

地域ネットワーク会議には、(2019 年 2 月 12 日掘田会館) には津田が出席

今年 4 月からは自治会の班長を西川が引き受けました

運営推進会議 2018 年 11 月 22 日 (木) 午前 10 時半～11 時

参加者：市役所職員 2 名・少路包括 2 名・民生委員・利用者家族

スタッフ強化について

社員を新規採用したいと縁故もふくめ探しました。パートさんからは社員希望者がおらず、この期で、2 回のメディア募集をおこない、1 名採用しましたが、3 日で退職しました。この 4 月に再度メディア募集しています。(6 月から 1 名採用)

職員研修

医療と介護の勉強会 (かとう在宅クリニック主催)

現場で役立つ看取りケアの基本 (豊中市介護保険事業者連絡会主催)

高齢者虐待防止のための研修会 (豊中市介護保険事業者連絡会主催)

命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる (豊中市介護保険事業者連絡会主催)

ささえあい生協新潟の地域活動を聞く (北大阪商工協同組合主催)

職場会議

随時、職場会議として、料理&おやつレク委員会 と プログラム委員会をおこないました。

利用者の状況（人）

- 支援1（1）支援2（2）介護1（18）介護2（2）介護3（4）
介護4（0）介護5（0）
- 男性（3）女性（24）
- 月平均利用者数 約11人

①2018年12月よりの活動報告

◆ボランティア4名によるレクリエーション

オカリナ・ハーモニカ・フルート・ヘルマンハーブ

○月1回来所頂き約1時間の演奏を下さっています。

楽器を触らせて下さったり、演奏に合わせて歌う体験型の楽器演奏会です。

※豊中地域ささえ愛ポイント事業に登録し、希望のボランティアさんには
ボランティアポイントをお渡ししています。

◆月2回の絵画教室

参加希望者のみの参加です。

◆月1回の書道を開催しています。スタッフによるもので希望者のみの参加です。

◆○12月24日25日 クリスマス会

オカリナ演奏とスタッフのフラダンスのコラボあり。

プレゼントとスタッフ手作りのクリスマスケーキでのひと時

○4月6日（土）4月8日（月）桜のお花見ドライブ（緑地公園他）

○5月20日（月）消防訓練 今回はクイズ形式での訓練をしました。

○6月1日（土）

「みどりのカーテンプロジェクト」ゴーヤの苗の配布

利用者と栽培し収穫後は昼食に使用して味も楽しんでいただく。

→ 秋の「緑のフォーラム」に皆さんでパネルを作って出品します。

◆毎月のお誕生日会

記念写真を撮りスタッフ手作りのカードにしてプレゼント。

スタッフ手作りの誕生日ケーキでお祝い

◆ケアマネージャーを招待して昼食試食会（施設内見学もして頂く）

○2019年1月23日（水） 4名参加

メニュー：三色丼・胡麻豆腐・ひじきサラダ[＊]・柚子ジャムヨーグルト・味噌汁

○2019年1月24日（木） 3名参加

メニュー：チキンカツ・高野豆腐煮・ツナとキャベツのポン酢和え・ご飯・味噌汁

◆12月22日（土）24日（月） 季節のお風呂・柚子湯

5月4日(土) 6日(月)

季節のお風呂・しょうぶ湯

◆おやつレクや餃子レクなどの参加型のクッキングレク

1月30日(水) 2月16日(土) 2月27日(水) 3月26日(火)

4月13日(土)

◆5月15日(水) バイキング

お出かけの食事会を検討しましたが、マンパワーの問題もあり、
バイキングを初めて企画しました。

普段少食の利用者が、おかわりのリクエストをされたり、「楽しかった
またしてね」と、スタッフともども楽しい時間を持ってました。

盛り付けは、何人かの利用者さんにもお手伝いいただきより充実しました。

初めての試みでしたが、今後も引き続き定期的に行っていきます。

◆個別の機能訓練を看護師が行う(加算対象外)

まず利用計画書に希望のある利用者を対象にベダル漕ぎや個人にあった
簡単な運動や外散歩・階段昇降などを、1対1の形で行う事を
新たにスタートしました。

看護師を主にしていますが、介護職も積極的にサポートしていきます。

計画倒れや声を上げるだけの計画ではなく、繰り返しの継続がスタッフの自信と
自覚につながると考えています。

津田シフトでの2年目になり、スキルアップと目的意識をもった2年目に
したいと思います。

スタッフ一人ひとりときちんと向き合って、マンパワーの信頼もより安定
したものにしていきます。

上野デイハウス しもつき

西川 明美

居宅介護支援事業所 ケアプランとまと
2018年度(2018年4月～2019年3月) 報告

管理者 吉岡 由香子
2019年6月17日作成

昨年度は、スタッフの増減、入れ替わり無く、常勤3名、非常勤1名の体制の継続となっています(常勤換算 3.5人)。

2018年度の請求件数、新規依頼状況

2018年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護	96	99	97	98	92	95
要支援	49	47	48	48	47	47
新規	7	1	3	1	3	3

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年
93	93	87	92	92	88	1122	82.7
46	48	47	45	48	51	571	81.8
0	2	0	5	1	1	27	79.4

(月平均 要介護者 93.5人 / 要支援者 47.6人 / 新規依頼 2.3人)

昨年度の請求件数と新規依頼状況は上記のようになっています。2017年度との件数を比べると減っていますが、これは2017年度が常勤換算4.7人から2018年度は3.5人に減っている為です。一人当たりの対応件数を見ると、2017年度が一人当たり月36名であったのが、2018年度は一人当たり月40名となっています。

件数については、ほぼ横ばいの状態ですが、上記で述べたように、一人当たりの件数を考えると各ケアマネがほぼ手一杯の状態です。

新規依頼についても出来るだけ受けるようにしています。地域包括支援センターからの相談も多く、予防から介護になった方や夫婦のどちらかが介護になったので、ということが多いです。予防については、ケアマネジャーによっては、予防のプランのほうが多いという状況もありますので、介護を中心に受けている状況です。

特定事業所加算については、一度問い合わせした段階では、現状の体制では条件を満たしていないとの返事でした。そのため、昨年度は加算申請行わず、

業務の改善に努めました。その後、改めて4月に問い合わせた所、条件を満たしていると確認がとれたため、5月から特定事業所加算Ⅲを申請しています。

勤務状況ですが、書類作成に追われる状況はあまり変わっていません。また休みであっても、利用者や家族の都合で出勤もしくは、出勤日の変更などは変わらずあります。このような状況ですが、土曜日の出勤は基本一人勤務とする事で、月に1,2回は連休が取れるように体制を変えています。

昨年度の地震、台風の災害後、防災マニュアルの見直しを行い、利用者の名簿についても、頻回に見直しをするようにしています。

ケアマネジャーの研修についても、今までも研修日を出勤扱いにしていました。今後、主任介護支援専門員が業務継続の為にも必要なため、スタッフが研修を受けやすいよう、受講料補助の制度を法人として整えてもらいました。